

富山県支部

県内清酒製造業の課題と活性化策

■「県内清酒製造業の課題と活性化策」の調査研究概要■

近年、県内の清酒製造業界は、酒類嗜好の多様化、業界内の競争激化等で経営環境が厳しくなっているため、現状の実態調査を実施し、課題を抽出するとともに、今後の活性化の方策を提言し、業界のさらなる発展に寄与するものである。

■県内清酒製造業の経営環境■

酒類の需要動向は、全体の消費が低下している中で、清酒の消費額も大きく減少し、大変厳しい経営環境下にある。

購入先は、スーパー、ディスカウントストア、量販専門店での購入が高く、低価格志向の傾向がある。

県内の消費量もビール、清酒が減少し、焼酎は増加傾向であるが、清酒のうち地酒割合は高く、地酒を愛する県民性である。

■現状と課題■

酒類の消費者ニーズの変化・多様化から、

- ①酒類全体の需要減
- ②ビール・清酒の減少、焼酎・ワイン・発泡酒の増加
- ③購入先の多様化

が生じ、その結果、県内清酒製造業界には、

- ①清酒の品質・味わい・売り方等について、革新的な対応
- ②流通チャネルの多様化への対応等、消費者ニーズへの対応が不可欠な状況である。

■今後の経営活性化策■

基本的には、生産重視から顧客重視の考え方や、経営資源の有効活用等、マネジメントの実施が必要であるが、具体的には以下の改善が望まれる。

- ①若者、女性志向など顧客ニーズに対応した新しい酒造り
- ②多様な流通チャネルに対応した販売戦略の実施
- ③味わい、品質特性、食との相性などの特徴を前面に出したプロモーション
- ④富山の酒というブランドによるファンづくり
- ⑤生産技術の継承とこだわりの酒造り
- ⑥製品開発の大学等との連携
- ⑦地酒の美味しさのPRのためのキャンペーンの実施
- ⑧共同による革新的酒造り、技術の開発や共同配送等の推進
- ⑨数社の共同事業